

研修

「平成30年度福島県公立学校教職員現職教育計画」に基づき、特別支援学校、小・中学校、高等学校等の先生方に対して教員研修を行っています。

基本研修(10講座)

- 特別支援学校初任者研修(6講座)
- 特別支援学校2年次教員フォローアップ研修(1講座)
- 特別支援学校経験者研修Ⅰ(1講座)
- 特別支援学校経験者研修Ⅱ(2講座)



H29 特別支援学校 経験者研修Ⅰ
講義1「特別支援教育の動向」

職能研修(7講座)

- 特別支援学級等新任担当教員研修会(小・中)
- 特別支援学級担当教員(経験三年)研修会(小・中)
- 小・中学校特別支援教育コーディネーター研修会
- 高等学校特別支援教育コーディネーター研修会
- 特別支援学校特別支援教育コーディネーター研修会
- 特別支援学校実習助手等研修会
- 通級指導教室担当教員研修会(小・中)

専門研修(17講座)

各講座の詳細については、特別支援教育センターのWebサイトでご確認ください。



H29 通級指導教室担当教員研修会
協議2「子どもの力を引き出す支援機器」



H29 障がいのある子どもを支える保護者や関係機関との連携
講義2・演習「教育相談で大切なこと」



H29 チーム力向上のためのメンタルヘルスと
リスクコミュニケーション
実技研修「身体を動かしてリフレッシュ」

公開講座(8講座)

NO	実施日	講座名	講師
1	5月29日	通常の学級におけるユニバーサルデザインと合理的配慮	星槎大学 准教授 阿部 利彦 氏
2	7月10日	重度・重複障がいのある児童生徒の理解と授業づくり	宮城教育大学 教授 菅井 裕行 氏
3	7月18日	通常の学級と通級による指導の連携 ～双方の視点からの効果的な連携について～	植草学園短期大学 教授 堀 彰人 氏
4	7月30日	発達障がいのある児童生徒のライフステージを考える	福島県発達障がい者支援センター センター長 増子 博文 氏、 所員
5	8月23日	新学習指導要領を踏まえた目標と評価	独立行政法人国立特別支援総合研究所 研究員 神山 努 氏
6	9月19日	障害のある子どもと係わり合う地平 ーやりとりすること、共創することー	上越教育大学 名誉教授 土谷 良巳 氏
7	10月2日	チーム力向上のための知識・理論 ーチームづくりのヒント:OJL実践編ー	立正大学 非常勤講師 小野寺 哲夫 氏
8	10月5日	ストレスで起こる病気と笑いを生かした対処法 ～チーム力向上のためのメンタルヘルスと リスクコミュニケーション～	福島県立医科大学 主任教授・健康増進センター長 大平 哲也 氏

自主研修講座(2講座)

NO	実施日	講座名	講師
1	8月 3日	きこえやことばに課題のある子どもの理解と対応	福島県総合療育センター 耳鼻咽喉科医師 鈴木 雪恵 氏 言語聴覚士 山田奈保子 氏
2	8月 3日	うごきに課題のある子どもの理解と対応	福島県総合療育センター 作業療法士 未定

平成30年度



福島県特別支援教育センター

子どもたちの学びと 就学前から学校卒業後までの切れ目のない支援体制づくりを支援します！



〒963-8041 郡山市富田町字上ノ台4-1
電話 024-952-6497(代)
FAX 024-952-6599
相談専用電話 024-951-5598
URL <https://special-center.fcs.ed.jp>
E-mail special-center@fcs.ed.jp

<交通案内図>



利用できるバス

◇福島交通 郡山駅前発

⑤・⑧番ポール

【バス停「百合ヶ丘団地」下車 徒歩5分】

⑤市営テニスコート経由百合ヶ丘行き

⑧下富田経由百合ヶ丘行き

【バス停「コパル前」または「郡山インター前」下車 徒歩5分】

⑧新国道経由熱海行き

⑧夏行き

⑧玉川経由熱海行き

⑧向原経由郡山西部工業団地行き

⑧郡山郵便局経由郡山西部工業団地行き

◇高速バス

○福島→郡山行き

○いわき→郡山行き

○会津若松→郡山行き

※バス停「コパル前」で下車徒歩5分

自家用車の場合

○東北自動車道 郡山ICから3分

学校・地域支援

～障がいのある子どもたちが
「地域で共に学び 共に生きる教育」を推進するために～

学校や地域のニーズに応じた支援を実施し、地域における教育相談力の向上と支援体制整備を支える活動

内容

- 幼稚園・保育所、認定こども園、放課後児童クラブ等、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校への支援
 - ・学校等のニーズに応じた支援を、研修会やケース検討会等を通して行います。
- 地域における支援体制づくりへの支援
 - ・地域の関係機関(医療・保健・福祉・教育・労働等)と連携しながら、支援のためのネットワークを作り、継続的・総合的に支援できる体制を整えます。
 - ・地域における「相談支援ファイル」や「個別の教育支援計画」等の作成と積極的な活用を支援します。



地域や学校の取組を支援します！

図書

図書の貸し出しを行っています。

どなたでも
ご利用
いただけます！

特別支援教育に関する書籍や雑誌を用意しております。

- 図書室開室日 月曜日～金曜日 9:00～17:00
- 申し込み 直接来所の上、申し込みをしてください。
- 返却方法 持参または郵送にて返却してください。



Webサイト

特別支援教育の情報満載！

- 教材・支援機器ポータル
 - ・障がい種/診断名、学校・学級、教科などにより教材や使い方を検索できます。
- コーディネートハンドブック
 - ・「短時間」「すぐ使える情報」「具体的な知識と実践」をポイントに作成しています。
 - ・タイトルをクリックするだけで必要な情報が手に入ります。

※ダウンロード可能

特別支援教育センターWebサイトをご覧ください。

- ・ 研修講座案内
- ・ 刊行物、データベース等
- ・ 最新の特別支援教育の動向

URL <https://special-center.fcs.ed.jp>



教育相談

どなたでもお気軽にご相談ください！

☆相談の**秘密は厳守**します。

☆相談費用は**無料**です。



**相談者の思いや願いに寄り添い、
健やかな成長を促す教育相談**

内容

障がい等の心配のある乳幼児、児童生徒についての

- 家庭での養育等に関すること
- 幼稚園、保育所、認定こども園、放課後児童クラブ等、
小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校での
生活や学習に関すること
- 就学や進路等に関すること
- 関係機関との連携に関すること 等

【申し込み】

(月曜日～金曜日 9:00～17:00)

相談専用 024-951-5598

来所による相談時間

火曜日～金曜日

- ① 9:00～10:00
- ② 10:30～11:30
- ③ 13:30～14:30
- ④ 15:30～16:30

事前に予約をお願いします。



相談に関するQ&A

Q1:どのような人が相談できるのですか？

A: 子どもの教育に関係する方々であれば、どなたでも大丈夫です。
保護者、講師、支援員等の方々も相談することができます。

Q2:特別支援教育センターで、障がい等の診断はできますか？

A: 医療機関ではありませんので、診断はできません。

Q3:他の機関と連携していますか？

A: 同じ建物内にある総合療育センター、発達障がい者支援センターをはじめ、保健福祉の様々な機関や県内の市町村教育委員会・各教育事務所・特別支援学校とも連携をしています。

調査研究・教育研究等

本県のインクルーシブ教育システム推進に向けて、さまざまな調査や研究を行っています。

- 発達障がいの可能性のある児童生徒を含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する 調査研究
- 知的障がいのある児童生徒を教育する特別支援学校における各教科の指導の充実
～新学習指導要領を踏まえた児童生徒の自立と社会参加に向けた資質・能力の向上を目指す実践研究～